

作成日：2014年6月04日

改訂日：2021年1月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : フタル酸水素カリウム 100ppmC標準液
パーツNo. : なし (D890499-A スタートキット (TOC用) 付属品)
会社名 : 株式会社HIRANUMA
住 所 : 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1739
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : (0120)47-6411 FAX番号 : (029)240-0381

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性
: 区分外

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

: 単一製品

化学名または一般名 : フタル酸水素カリウム

成分及び含有量 : フタル酸水素カリウムの約0.02%水溶液
(全有機炭素として100mg/L)

化学式(化学的性質) : C₆H₄(COOK)(COOH)

官報公示整理番号

化審法 : 3-1272、3-1342

安衛法 : 公表

CAS No. : 877-24-7

4. 応急処置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかませ、うがいをさせる。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

- 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合 : 直ちに水を飲ませる。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤 : 特になし。
特有の消化方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 : 特になし。
回収、中和 : 漏洩した液は、紙、布などで拭き取る。
-

7. 取扱い及び保管上の装置

- 取り扱い
技術的対策 : できるだけ皮膚などに付けないようにする。
保管
適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）
日本産業衛生学会(2009年版) : 設定されていない。
ACGIH(2009年度版) : 設定されていない。
設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具 : 特に必要ない。
手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : 無色の液体

臭い	: 無臭
pH	: 弱酸性
融点	: 約0°C
沸点	: 約100°C
引火点	: 不燃性である。
密度	: 約1g/mL (20°C)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水; 自由に混合

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
避けるべき条件	: 日光、熱

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口: 区分外 経皮: データ不足のため分類できない。 吸入(蒸気): データ不足のため分類できない。 (フタル酸水素カリウムとして) ラット 経口 LD50 > 3200mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外 フタル酸水素カリウムの希薄な水溶液であり、弱酸性であるので区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 区分外
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データ不足のため分類できない。 皮膚感作性: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性一単回暴露	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性一反復暴露	: データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: 水生毒性(急性): データ不足のため分類できない。 水生毒性(慢性): データ不足のため分類できない。

残留性／分解性 : データなし。
土壌中の移動性 : データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : アルカリで中和した後、大量の水とともに下水に流す。
容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制 : 適用法令なし
国連分類 : 分類基準に該当しない。
輸送の特定の安全対策および条件
: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当
毒物および劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献、参考資料

- 1) 関東化学㈱ 全有機炭素標準原液のMSDS(整理番号: 41100)
- 2) 安全衛生情報センターのHP

* 本製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成されていますが、必ずしもすべての情報を網羅するものではありませんので、取扱いには充分注意してください。また、記載内容は情報提供を目的としたものであり、いかなる保証をなすものではありません。

以上